（4）綱取堰を作った人々

堰の名前、堰の大きさ、作成人物、作成年代

堰の名前	堰の大きさ	作成人物	作成年代
大堰 Ⓐ′ －①－② －③－④ （③－④は上堰とよばれ現在では漆堰という）	堰長（堰の長さ） ・700間（1272m） （上堰の分は約1000m） A点での幅は272cm 〃　深さは121cm	不　明 文献１　小沼組堰堤帳(1679年)による。 文献２　熊倉組堰堤帳(1708年)による。 文献３　農林省農務局調査(1927年) 文献４　耶麻郡誌による。	不　明
下吉堰 Ⓐ′ －①－② －③－④－⑤ －⑥	堰長 ・1092間（2017m） ⑥点での幅は164cm 〃　深さは127cm	不　明 文献２　では特に開堰者不明とことわっている。	不　明
京出堰 Ⓐ′ －①－② －③－④－⑤ －⑥－⑦	堰長 ・1750間（3180m） ⑦点での幅は166cm 〃　深さは121cm	不　明 文献２　熊倉組堰堤帳(1708年)による。	不　明
分木堰 ⑦′ －⑧－⑨ －⑨′ －⑨″	堰長 ・865間（1572m） ⑨点での幅は181cm 〃　深さは181cm ⑦点は長年「水あらそい」の地点となった。	岩瀬権太夫 使用人員 800人 文献２、３、４による。	1650年 （慶安３年）